

コミュニティ・スクールの推進

～新潟市の未来を託す子ども豊かな成長のために～

新潟市教育委員会

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成

私たちの未来

誰も経験したことのない社会

人口減少、高齢化
グローバル化、超スマート社会



課題や環境の複雑化、多様化

いじめの原因の多様化
不登校の原因の多様化
児童虐待の増加
ヤングケアラーの増加
ICT教育の推進による弊害



これからの未来を生き抜く子どもたちのために

自らの成長を見出す力

挑戦し続ける力

学びに向かう意欲

大切にしたい子どもたちの学び、経験

学校の学びが生活の中で
生かされた経験

挑戦した成功経験と
失敗から学ぶ経験

多様な立場、考えの人と
協働できる経験

学校の枠を超え、「地域全体を学びのキャンパス」に

地域と学校が一体となって【地域総がかり】で「地域の未来を託す子ども」をともに育てる

地域全体で目標を共有し、保護者、地域が学校運営に参画

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度)

複雑、困難化する
課題への対応

多様な知見による
最善の解決策

早期対応
組織的対応



学校運営協議会に1人配置

地域とともにある学校

校長推薦、15人以内、任期2年（再任あり）

CS事務員

学校運営協議会 （合議体）

< 保護者代表, 地域住民, 学校支援者など >

学校運営協議会の主な役割 （地教行法第47条5）

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

学校運営や子どもに必要な支援に関する協議

「熟慮」と「議論」を重ねて課題解決を目指し、将来の地域を担う子どもの育成について、互いの意見を尊重し合い、知恵を出し合う肯定的で未来志向の話し合いを行います。**（熟議）**

目標の共有

協議結果を
情報共有

承認

説明

意見

説明

< 校長 >

学校運営
基本方針
<教育ビジョン>



学校運営
教育活動

一学校に一学校運営協議会
複数校で協議する場合は「合同会」

年4回標準

意見

・学校運営
・教職員の任用

新潟市教育委員会

CS相談員
指導主事

保護者・地域



理解

支援

地域学校協働活動

地域と学校パートナーシップ事業

教育ビジョンに照らし、
パートナーシップ事業や
協働活動の見直し

学校支援に必要な
新たな人材に係る
ネットワーク再構築

地域教育
コーディネーター

協議結果を踏まえた
学校支援

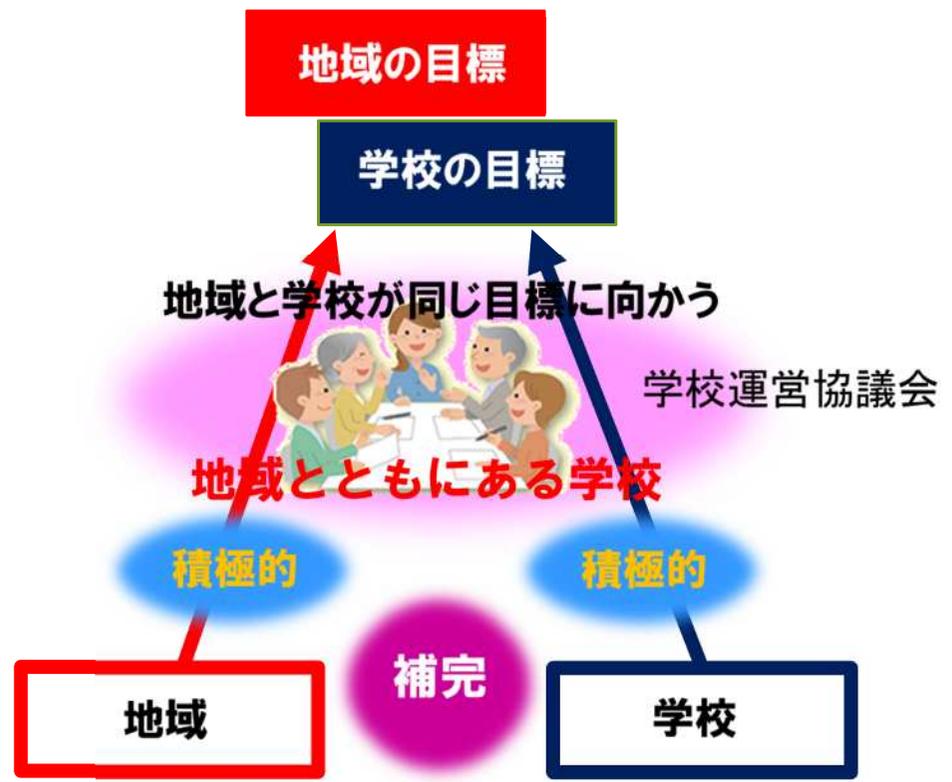
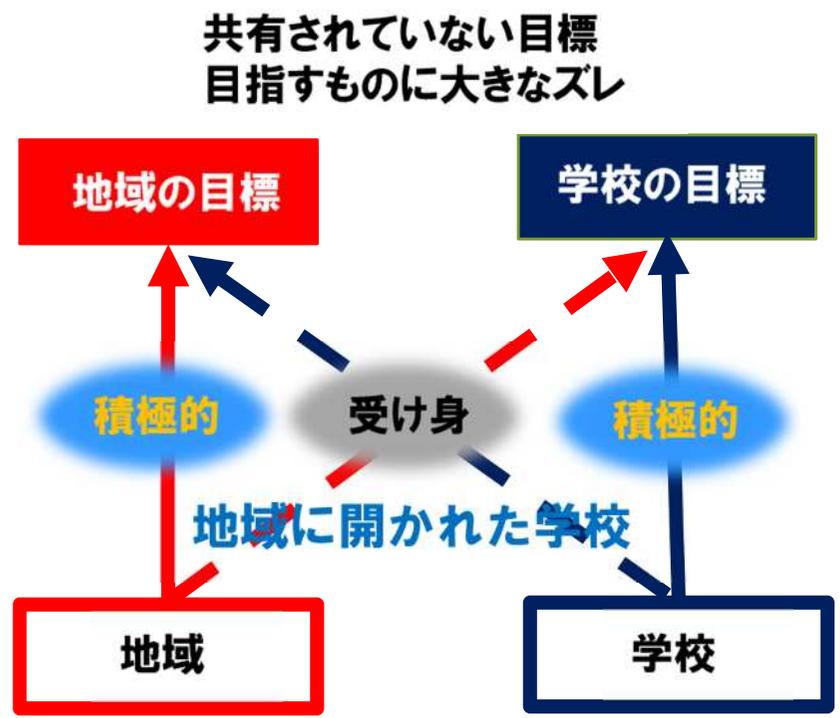


区担当指導主事1人配置

これまでの活動に意味づけ、価値づけ

これまで これから

地域と学校の姿



これから

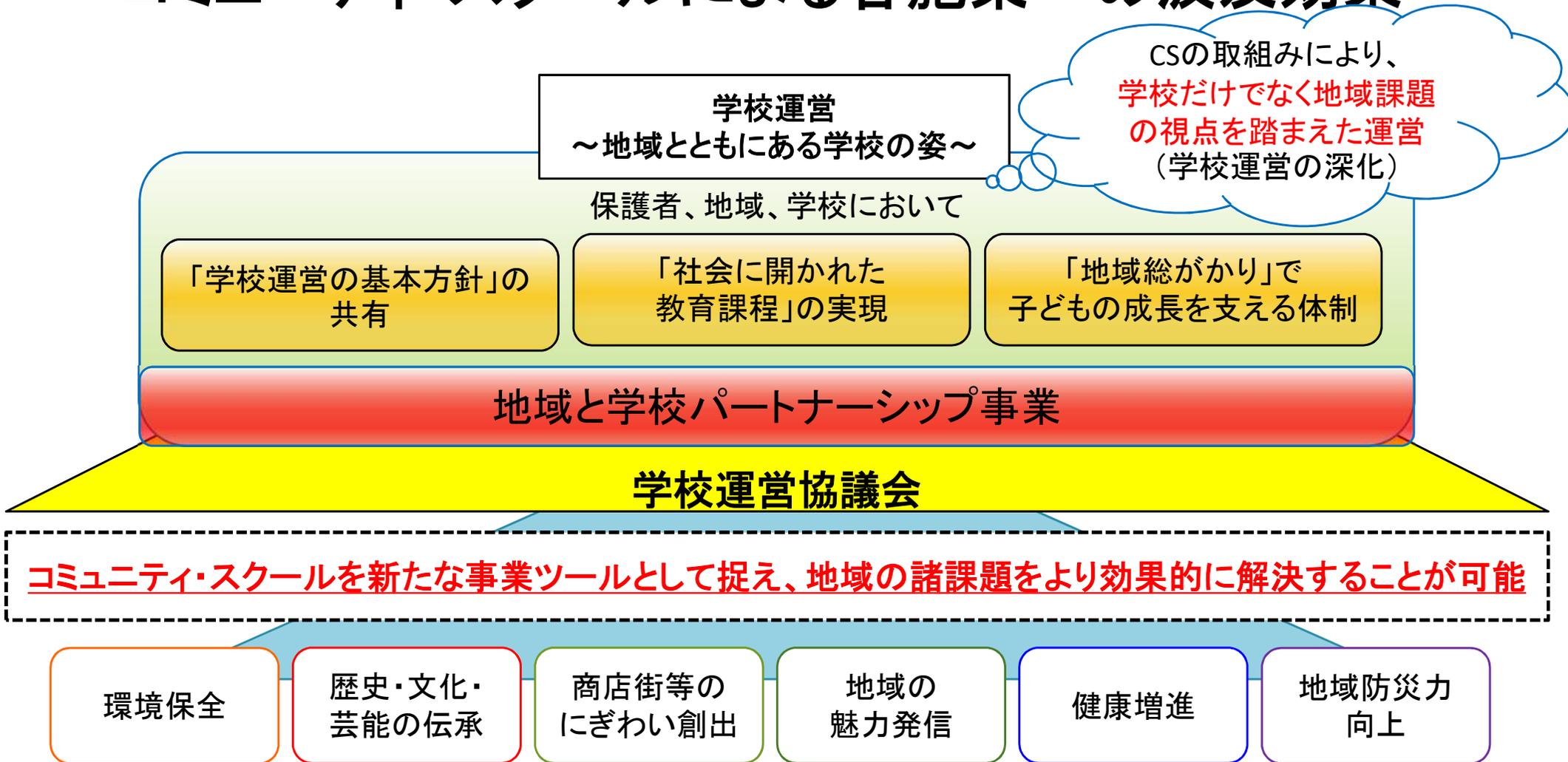
これまで

学校運営協議会と地域学校協働活動との関係

(地域と学校パートナーシップ事業)



コミュニティ・スクールによる各施策への波及効果



葛塚中学校・葛塚東小学校 トライアングルプロジェクト



小・中学生の学校運営協議会への参画



タブレットを活用した小・中学生と
学校運営委員との協議

白南中学校 総合的な学習の時間 「大好きにいがた」～他人事から自分事へ～

令和3年度 学校教育ビジョンの承認

- 1 取組の重点
- (3) **地域の一員として、地域に学び、地域とかかわり、地域に誇りをもつ生徒**の学習活動を推進する。
 - ① 地域や保・小学校、児童館等と連携し、協働した様々な活動を行うことを通して、生徒の**自己有用感**を育むとともに、「**生徒が元気に、学校が元気に、地域が元気に**」を実現する。
 - ③ SDGsの視点や「地域福祉アクションプラン」や「南区地域カルテ」など**地域課題**を踏まえた総合的な学習の計画の見直しと改善を行う。

地域と学校
パートナー
シップ事業

区や地域と
の協働

令和4年度 総合的な学習の時間

地域課題との出会い

南区社会教育協議会の方々から白南中学校区の課題や実態を学ぶ

自己の課題との出会い

地域課題の中から気になったことや興味をもったことを調べ、ワークショップを開く

解決策を練る

地域の中で何ができるかを考え、生徒や地域の方からアドバイスをいただく

企画を提案する

自分たちの考えた企画を地域の方々に提案する

生徒の学び

自己有用感
地域の一員としての意識の醸成

地域課題の解決

地域の活性化

コミュニティ・スクールの推進

～新潟市の未来を託す子どもの豊かな成長のために～

新潟市教育委員会